中国・台湾に進出する企業をサポート
「ライブコマース」の新サービス開始

ノーツ

2016年に府中市で創業したノーツ（千代田区、近藤岳裕社長、03・6272・5144）は「クロスボーダーのハードルをゼロに」をミッションに掲げ、中国・台湾進出を目指す企業に向けて、マーケティングや販売促進支援などを行っている。19年には中国法人を設立し、現在、寧波（ニンポー）市に貿易拠点、上海市に営業拠点を構える。

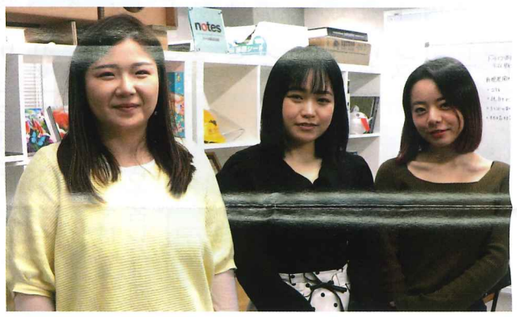
「中国市場が魅力的なのは間違いないが、ECサイトやSNSなど、中国独自の仕組みが障壁となっている」と近藤社長。そこで企業の中国進出をサポートするため、商標取得代行や市場調査・テストマーケティングをはじめ、EC モール「天猫（Tmall）」の運営代行、「WeChat」「Weibo」「小紅書（RED）」等のSNSの運用代行に至るまで、さまざまな事業を展開している。

中国と日本の架け橋を務める近藤社長

22年12月からは中国で大流行している「ライブコマース」の新サービスも開始した。ライブコマースとは、SNSのライブ配信機能を使い、視聴者＝顧客の質問にリアルタイムで答えながら商品を販売する手法で、双方向のコミュニケーションが取れるため、商品特性をしっかりと伝え、すぐに販売もできるのが魅力だ。市場規模約34兆円といわれるまでに成長している。

同社では中国版インスタグラムといわれる「小紅書（RED）」を利用してデザインと品質に優れたクライアントの商品をライブ配信している。

「ライブコマースは中国人の生活に深く浸透しテスト販売や販促活動にも活用できる。中国市場に興味を持ったら、『1分で知る中国マーケット』という動画配信を始めましたので、ぜひ視聴してみてください」と近藤社長は話す。


多くの中国人スタッフが活躍

システム開発からWEB制作、SESまで
中小企業向けに柔軟・低コストで提供

フレクショナルワン

フレクショナルワン（立川市、中鉢和幸社長、042・508・2808）はシステム開発、Web制作、システムエンジニアリングサービス（SES）の3つの事業を展開する。

システム開発では、Web・オープン系システム開発を得意とし、業務アプリケーションやWebシステム設計、開発、運用を提供する。製造業向けの機械設計用計算ソフトや画像検査装置システムの開発、行政向けに地図アプリを活用した道路維持管理システムの開発などの実績を持つ。

「経験豊富なスタッフがお客さまのご要望を聞きながら、ニーズに合わせてブラッシュアップしていくことで、より満足度の高いシステムやソフトウエアをご提供します」と中鉢社長。

中鉢社長はSEとして15年のキャリアを持つ

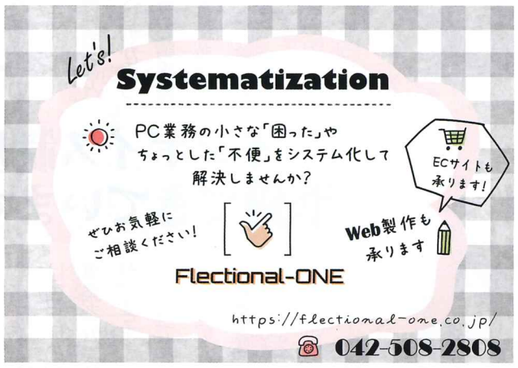
Web制作では、コーポレートサイトからECサイトまで用途に合わせて必要な機能を実装して提供する。

SES事業では、プロジェクトニーズに合わせて、最適なスキルを持つ技術者を派遣する。現在、SES事業が7割を占めるが、今後はシステム開発やWeb制作に注力していく予定だ。

同社の強みは、大手・中堅規模のWeb・システム会社にはない「小回りの良さとコストメリット」だ。

「特にシステム開発となると高額なイメージがありますが、弊社ではお客さま、特に中小企業さまの予算に合わせて、既存のソフトを掛け合わせて活用するなど、ITでお困りの企業さまのためのよろず屋的存在になることを目指しています」と中鉢社長は語る。

立川をはじめ、多摩地域を中心に地域密着で「近隣企業さまに気軽にお声がけいただける会社でありたい」と話す。



手書き風のチラシなどを作成し相談しやすさを伝えている

しんきん圏央道アライアンス
圏央道の宝物グランプリ2022-2023
受賞企業決定

★BOB会員多数受賞

多摩信用金庫を含む圏央道沿線の信用金庫（水戸信用金庫、埼玉縣信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫）による連携協定「しんきん圏央道アライアンス」は地域の活性化、にぎわい創出を目指し、「圏央道の宝物グランプリ2022―2023」を2022年11月29日に開催しました。

◇

圏央道の宝物では「地域の魅力ある商品を全国・世界レベルのヒット商品に育てる」ことを目的に、同年8月から5信金の会場をオンラインで結び、参加者同士のコラボレーションによる新商品の開発や自社商品のブラッシュアップに取り組みました。外部有識者の審査を受けて、各部門のグランプリおよび準グランプリが決定しました。

スイーツ部門では、BOB会員の根津（立川市、根津盛行社長）と平塚信金取引先のコラボチームが「蜜りんごキャラメル入り生スイートポテト」でグランプリを獲得しました。

コミュニティ部門では、BOB会員のスイベルアンドノット（武蔵野市、見木久夫社長）「みんなのむさしのレールエール」がグランプリ、くにたち農園の会（国立市、小野淳理事長）「まちなかの田畑が学校になる！」が準グランプリを受賞しました。

和素材スイーツ部門はBOB会員のNAYUTA SWEETS（ナユタスイーツ／国分寺市、加藤豪社長）と平塚信金取引先2社がコラボした「Gelato 7（ジェラートセブン）」がグランプリを獲得しました。

各部門のグランプリ・準グランプリ受賞者は、23年2月に開催される「にっぽんの宝物JAPANグランプリ」に出場予定です。

顧客満足を超えた"顧客感動"を目指し
高度な技術で半導体装置や制御盤を製作

ヨコタエレクトロ

ヨコタエレクトロ（西多摩郡瑞穂町、横田秀和社長、042・513・9472）は高度な技術を駆使し、各種電子機器や半導体製造装置の電装部、制御盤などを製作している。

2014年に設立した同社は、官庁関連のインフラ設備の制御盤製作で高い評価を得てきた。温調器や半導体製造装置の電装部の製作でも品質の高さを誇っている。基板実装から装置の組立・配線まで幅広く対応できるのが強みだ。

製作中の半導体装置ユニット部を紹介する横田社長

「圧着、組立、配線、ネジ締め、はんだ付けなど全てに高度な技術が必要です。センスの良さや美しさにもこだわった製品づくりを心掛けています」（横田社長）。

同社はマイクロソルダリング（微細はんだ付け）技術上級オペレーター資格を持つ横田社長をはじめ、9人の従業員全員が熟練の技術を磨き、少量多品種で高品質なものづくりを実践している。

また基板の改造や改修も行い、古い基板の修理やリペア作業にも対応。顕微鏡を見ながら1㎜以下の電子部品を取り外し、新しいチップやICをはんだ付けするといった細かい作業も行う。

さらに試作基板の製作から試作装置の製造まで対応し、顧客が納得いくまで丁寧にサポートする。休日や特急作業にも柔軟に対応。電子機器に不具合が出た場合は、現地に出張して修理を行うこともある。

「顧客満足を超えた"顧客感動"を目指し、全社一丸となってお客さまの笑顔が見られる製品づくりにまい進していきたい」と横田社長は語る。

高度な技術を要する半導体装置の配線作業